

## 優秀賞

# RPGソースコードを Valence File Editorで改修

福島 利昭 様

株式会社ランドコンピュータ  
代表取締役社長



株式会社ランドコンピュータ  
<https://www.rand.co.jp/>

高校、大学等のコンピュータ教室で使われる「授業支援システム」の設計、開発、販売を行っており、学校等の教育関連施設に対して5000件以上の納入実績がある。業務ソリューションに必要なソフトウェア開発と、画像・音声処理などの機器製造をトータルに展開している。

## 業務課題

元号の変更に伴い、IBM i から出力している伝票の「平成」表記を西暦に変更する。そのために、プログラム内の固定値で管理している元号表記を編集する必要があった。

## 技術課題

RPG や CL を編集する際、5250 画面ではなく操作しやすい GUI 画面で編集したい。GUI でソースコードを編集するためのツールは存在するが、当社の IBM i のバージョンに対応するものは販売終了となり、入手できない。

## 技術課題の解決策

Valence ユーティリティの機能の 1 つである「File Editor」は、IBM i の DB やテーブルを参照・更新できるツールで、Web ブラウザで利用する Valence メニュー画面から簡単に呼び出せる。

Valence メニューは、大きなアイコンを配置しており、使い勝手がよい。【図 1】

また File Editor 画面は、最近使ったファイルがショートカット化されるため、頻繁に使用するファイル／ライブラリー名の都度入力不要となる。【図 2】

この File Editor を使ってプログラムソースコードの編集を行うところが、今回工夫した活用方法である。編集手順は以下のとおり。

まず、ソースライブラリーから編集・確認したいメンバーを選択する。【図 3】

選択したメンバーの編集画面【図 4】で、編集したいソースの行をダブルクリックすると、編集用のダイアログが表示される。【図 5】

従来的方法【図 6】と比べると、File Editor を使ってソースコードの内容を簡単かつ確実に編集でき、とくに本事例の日付表示形式変更のような既存プログラムの特定箇所の編集作業には非常に有効だった。ちなみにコンパイルは 5250 画面で実行している。【図 7】

## 業務課題解決と効果

ブラウザベースなので、メインで使っている Mac からでもソースコードの確認、編集ができるようになった。ソースコードを Excel 形式で簡単にダウンロードできるので、バックアップ目的やソースコードの確認が楽になった。

今後も消費税変更対応など、IBM i のテーブル／ソースコードを変更する際に、Valence File Editor を利用する予定である。

M

図1 Valenceメニューの画面



図2 File Editorの画面

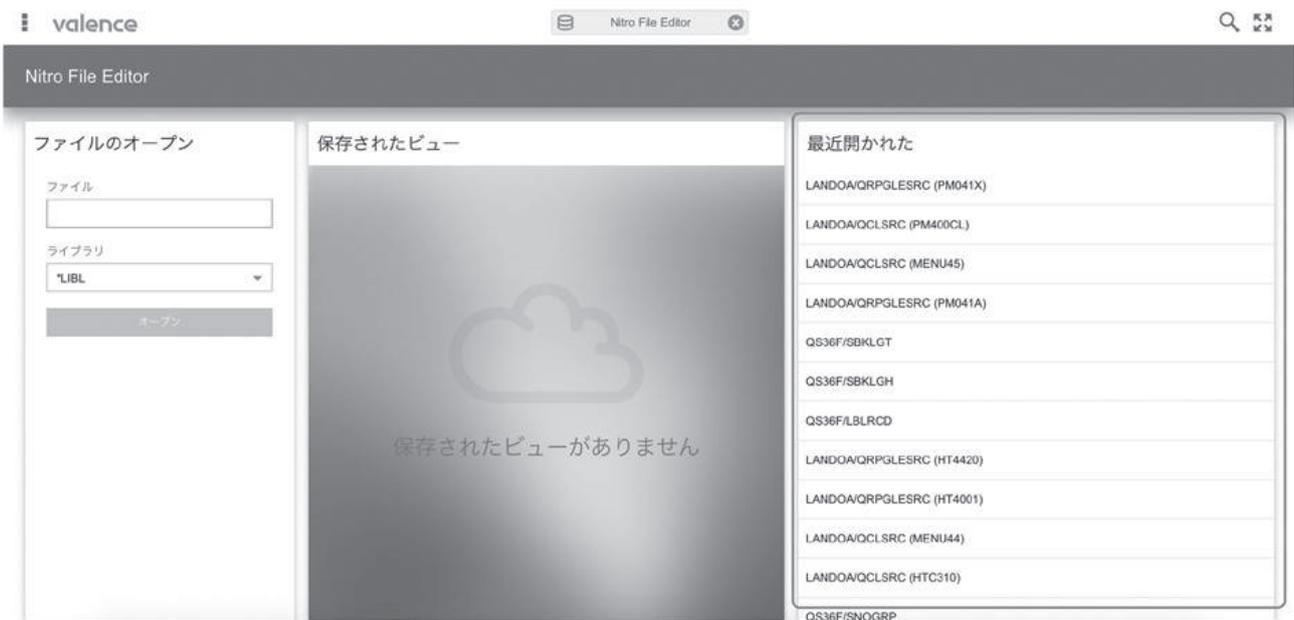


図3 ソースメンバーの選択

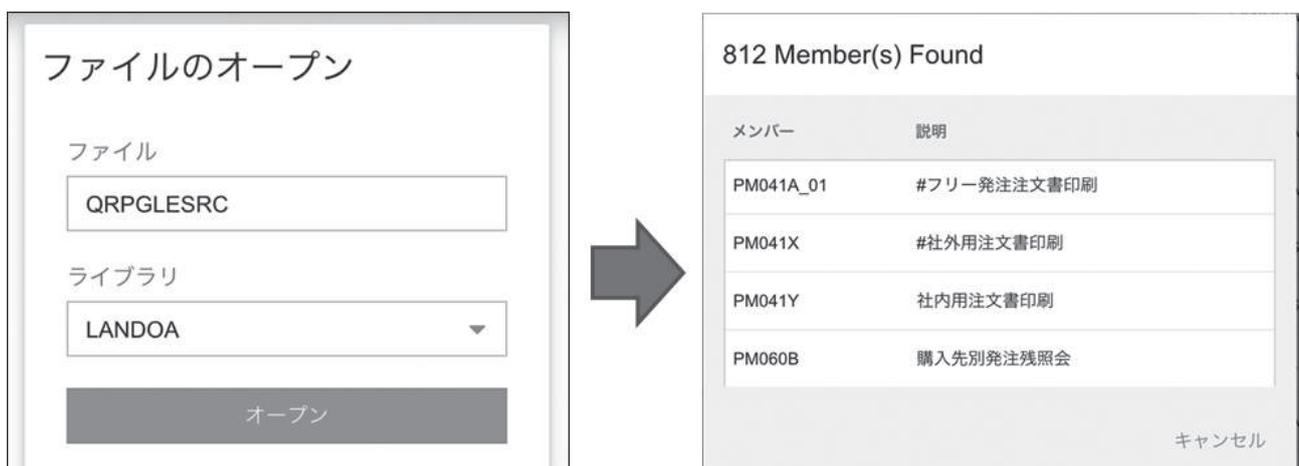


図4 File Editorのメンバー編集画面

SR...	SR...	SRCDTA
⋮	1	951211 H DFTNAME(PM041Y) DATEDIT(*YMD/)
⋮	2	891124 00002H*-----* **
⋮	3	900302 00002H* 1/10月30日 プリント 業者別ロット順 9 " サイズ DATE:88/05/16 * **
⋮	4	900302 00002H* MODIFY HIROYUKI-TOMODA DATE:90/03/02 * **
⋮	5	891124 00002H*-----* **
⋮	6	951211 00003FOPNWK1 IP F 700 DISK
⋮	7	310 00004F*DPRTMT IF E K DISK
⋮	8	991206 00005FVENDER IF E K DISK
⋮	9	990910 0021 FPRDID2 IF E K DISK

図5 編集用ダイアログの表示

SRCSEQ

SRCDAT

SRCDTA

キャンセル 削除 更新

↓

SRCSEQ

SRCDAT

SRCDTA

キャンセル 削除 更新

編集したい行を  
ダブルクリックし  
編集用ダイアログ  
を表示

図6 5250画面で編集

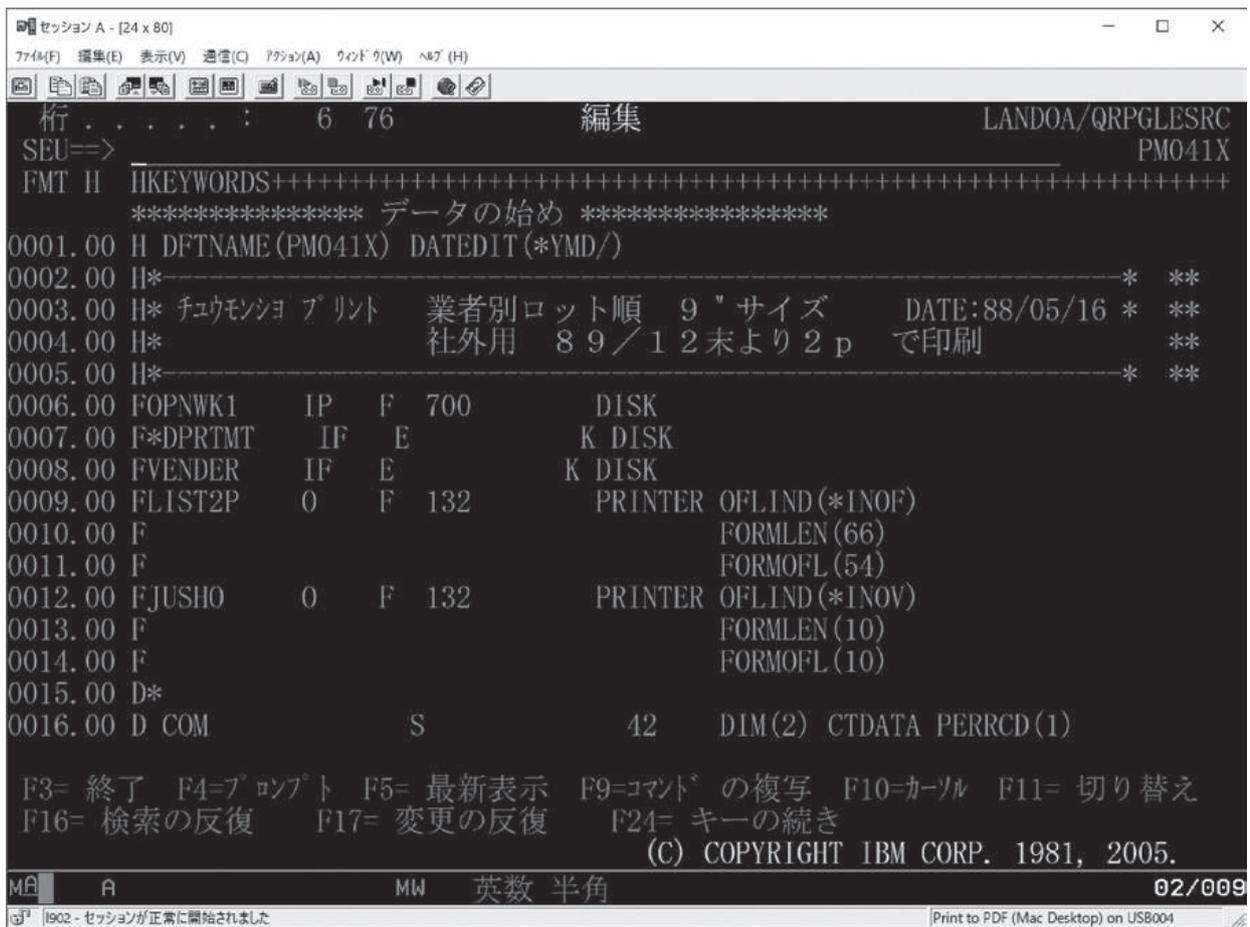


図7 コンパイルは5250で実行

